

New Zealand Kindergarten

ニュージーランドでキンダーガーデンといえば、幼稚園のことである。しかし、日本の幼稚園とは沢山の違いがある。まず、資格を取得するためには、大学で3年間勉強した後、2年間幼稚園で仕事をやってからようやく資格取得が出来るというシステムである。勤務時間は8時から4時半までである。しかし普段は5時に帰宅するが、9時になっても仕事は終わらない。とてもペーパーワークが多いようだ。子どもが園内にいる時間は8時45分から14時45分までである。



園内のアスレチック

◎教育目標…子どもたちが小学校へ入学した時、鉛筆や道具を差支えなく使えるようにしておくことや、友好的人間関係の構築や長く椅子に座っていられることなど、基本的な事が出来るようにすること。そして両親と長い時間離れられるようにしておくこと。全体の目標としては、先生と家族、街の人たちが精神と体が一緒に成長していくようにする。



園内の砂場

◎保育者の人数…10人の子どもに先生1人

・4歳…月・火・木(8時45分～14時45分)

・3歳…水・金(8時45分～13時)

4人の先生で見る=40人の子ども

小学校に隣接しているため5~6歳の子たちも幼稚園に遊びに来る。5歳になった子は小学校へ行くので、スムーズに小学校へ上がれるようにしてあげている。本を下級生に読んであげることで勉強にもなるし、先生もつい最近卒業した子に会えるというメリットがある。

◎幼稚園の先生をしているうえで大事なこと

- ・子どもを大好きになること
- ・我慢強く子どもたちの面倒を見てあげることが出来ること
- ・子どもが興味を持っていることをより引き出してあげるというニュージーランドの教育システムをよく理解すること
- ・両親との関係



砂場で遊んでいる子ども

◎大変なこと

- ・限られた時間の中で子どもたちと遊びたいが、ペーパーワークが多く、時間をとられてしまうこと。



水で遊んでいる子どもたち

